

大垣市新庁舎建設基本設計中間報告パブリックコメント実施結果

実施期間

平成 27 年 12 月 18 日（金）～平成 28 年 1 月 15 日（金）

意見の提出数

9 名より 33 件の意見、29 件の賛同

意見の分類

分類No.	分類項目	意見数
1	設計趣旨	10
2	配置計画	4
3	フロア構成	2
4	ユニバーサルデザイン計画	2
5	環境配慮計画	4
6	防災計画	7
7	その他	4

意見内容

分類No.	No.	内容	考え方
1	1	本市の将来へのビジョンをアピールする建物とし、本市を全国に発信するための魅力を込めた建物にしてほしい。商業・観光施設ではありませんが、味のある建物に。	本市の風土、歴史、文化などの地域性、景観性に配慮し、基本方針である「みんなの交流の場となるシンボリックな庁舎」とする一方で、「機能的で経済的な庁舎」、「防災拠点として市民の生命と財産を守る庁舎」となるよう、実施設計に取り組んでまいります。
	2	官庁舎は質素、堅牢であってほしい、デザイン本位はやめてほしいと思います。	

分類 No.	No.	意見内容	考え方
1	3	北庁舎（現教育委員会）の跡（空施設）に市民の交流拠点、観光拠点の利用を希望します。例えば大垣まつりの軸の会館、多文化交流センター、男女共同参画センター、まちづくりセンター等の複合型の施設を希望します。	<p>新庁舎建設後の北庁舎（北館・南館）については、耐震診断の結果、耐震性に問題はありませんでした。</p> <p>市では、現在、市有施設の更新や統廃合、長寿命化を計画的に行うための公共施設等総合管理計画を策定中で、北庁舎についても、この中で利活用方針を検討してまいります。</p>
	4	基本的なコンセプトについては、大変よくわかるので賛成である。	基本理念である「市民の集う庁舎」にむけて、実施設計に取り組んでまいります。
	5	将来的な合併も視野に入れて、この際8階といわず、10～20階とした方が、いざというときに手狭になることを避けたらどうかと思う。	<p>各階の規模については、低層階は窓口スペースとして十分な面積を確保し、中高層階は各課・各スペースの連携を図る合理的な大きさとしています。</p> <p>階数については、各階の規模に加え、本市の地域性、景観性を考慮し、水門川や公園との外観の調和を図り、日照、ビル風などの周辺環境への影響を少なくするほか、階段、トイレ等の共用部分が多くなり過ぎないように経済的な観点を含めて総合的に検討した結果、8階建てが最適であると判断いたしました。</p>
	6	新市庁舎を街のシンボルと考えたときに、8階だと目立たないのでインパクトがないのではと感じる。17階の共立銀行を超えるものでもいいのではないか？	
	7	8階だと、市街地内であまり目立たないので、シンボル性に欠けるため、10階～15階がいいと思う。岐阜市新庁舎が18階みたいだから、県内第2都市の新庁舎としては、妥当な規模だと考える。	
8	西濃地方を統べる大垣市の中心市街地で、どっしりとそびえ立ち、市民に末永く愛される新庁舎を建てて欲しい。		

分類 No.	No.	意見内容	考え方
1	9	<p>新庁舎のおとす影を県道 237 号線北側歩道部の一部までとしてほしい。</p> <p>冬期の太陽光は貴重な存在であり、住宅部は勿論、歩道部の一部や市道においても陽射しがほしい。(積雪時には歩道部や市道部において周辺住民にて人力除雪はおこなっていますが寝雪となってしまう。)</p> <p>庁舎近辺には 8 階建て NTT ビルもあり、庁舎現案影響も含めるとさらに日影範囲が広範囲になると考えられます。</p> <p>新庁舎配置を南へ移動、高層部の一部をセットバック、近辺に大垣公園もあるため川沿いの丸の内公園面積を減し東西に広げた形状による階数減(西日対策にも効果)等、複雑であることは承知の上であります。再度ご検討をお願いいたします。</p> <p>新庁舎は勿論、庁舎周辺におきましても自然エネルギーを最大限に活かした環境配慮計画をお願いいたします。</p>	<p>現本庁舎の北側の一部を先行解体し、新庁舎建物を北側県道から離して配置するとともに、建物の高さを低くすることで、周辺の日照への影響ができる限り小さくなるよう計画してまいります。</p>
	10	<p>将来的なことも考えて、約 25,000 ㎡の延べ床面積はあった方がいい。愛知県刈谷市は、大垣市よりも人口規模は小さいが、それくらいの庁舎を竣工したから、不可能ではないと思う。</p>	<p>基本構想では、職員数などから算定した面積に、付加機能面積を加えた約 21,000 ㎡を新庁舎の延べ床面積と設定いたしました。今回、各階のレイアウトを計画した結果、延べ床面積は約 20,400 ㎡としています。今後、さらに机やカウンターの詳細な配置計画などを行い、実施設計で面積を確定してまいります。</p>

分類 No.	No.	意見内容	考え方
	11	<p>大垣は水都と称されています。それを標榜すべき水門川からのウォーターエントランス（川からの玄関）があってもいいのではありませんか。来賓や観光客を船やたらい舟でお迎えする船着場を計画ください。</p>	<p>新庁舎の西側に丸の内公園を移設し、新庁舎、公園、水門川を一体的に整備することで、来庁者のみならず多くの方々に、魅力的な水辺空間を提供してまいります。具体的な活用につきましては、河川管理者である県と協議して、実施してまいります。</p>
2	12	<p>当地方の環境は年間を通して西或は西北よりの風が比較的強く、計画の高層庁舎の西側と水門川との間の公園はビル風や川風もあり、年間を通して利用価値のない公園となり不適切な場所である。公園はたとえ小さくても市民の憩いの場となるように、日当たりが良く風の少ない場所として計画庁舎の東側か南側に計画すべきである。</p> <p>駐車場は、風や日照に余り関係なく、計画庁舎の北側或は西側に配置しても良いのではないかと。</p>	<p>「水を生かし、緑を広げ、まちづくりの拠点となる庁舎」を基本方針の一つに掲げ、新庁舎、公園、水門川の水辺空間が一体となった、大垣ならではの魅力的な都市空間を創出するため、水門川沿いに公園を配置する方針としています。</p> <p>新庁舎の各階に庇を設けることなどでビル風の影響を小さくし、通路には樹木を配置するなどの防風対策を講じてまいります。また、様々な草花や木々を配することで、四季を感じ、親しまれる公園としてまいります。さらに「奥の細道芭蕉祭」などにおいて、公園と駐車場を一体的に活用し、大垣を訪れる方々に“水都大垣”の魅力在全国に発信してまいります。</p>
	13	<p>現庁舎を解体すると、更に狭くなるため、日常業務に影響が生じるのではないかと。プレハブの仮事務所を作ったら、余分な経費がかかる。</p>	<p>新庁舎建設中の仮庁舎につきましては、費用対効果を考慮し、近隣の建物を利用することとし、来庁者の方々にできるだけご迷惑をお掛けすることがないように計画してまいります。</p>

分類 No.	No.	意見内容	考え方
2	14	<p>解体せずに北側ギリギリまでの建築面積にして、その分高層化する方がよいと考える。それにより、駐車場も200台以上のスペースが確保できる。</p>	<p>高層化による建設コストの比較や日照等の周辺環境への影響など、様々な点を検討し、誰もが利用しやすく、親しみやすい庁舎の計画としております。また、駐車場は、新庁舎正面の第一駐車場にできるだけ集約し、第二、第三駐車場と合わせて、170台分を確保し、イベントや災害時などの様々な利用を想定した駐車場としています。</p>
3	15	<p>非常災害防災センターを設けること。その場合、非常時に活動しやすくする為に2F～3Fに災害対策センターの設置が容易に出来るような部屋割り構造とすること。</p>	<p>防災機能の充実にむけ、防災会議室や防災無線室などの災害対策関連諸室を4階にまとめて配置する計画としています。</p>
	16	<p>可能な限りすべての課の受付を一階に配し、ワンストップで用が済ませることが出来るのが望ましいです。各部の受付でもよい。込み入った内容については上層の各課を案内してもらい、市民の移動距離を短くするのも市民サービスです。できれば各課の職員は客からブラインドにして見えなくてもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>多くの方々が利用される窓口サービス課は1階とし、関連性の高い子育て支援課などを2階までに配置することで、来庁者の利便性を高める計画としています。</p> <p>また、執務スペースを一体の空間とすることで、将来の変化に対応できるフレキシブルな計画としています。</p>
4	17	<p>エレベーターの設置場所について、図面上表示がありませんが、三方向に出入口があり、ほぼ中央にあると見て良いか？</p>	<p>エレベーターは、正面入口付近に2台、北側入口付近に2台の計4台設置し、さらに1階と2階をつなぐ専用階段を設置することで来庁者の利便性を高めています。</p>

分類 No.	No.	意見内容	考え方
4	18	1 - 2階への動線（連絡）はエスカレーターの設置を望む。	エスカレーターは、階段やエレベーターと比較して占有面積が大きく費用対効果が低いと考え、設置せず、代わりに1階と2階をつなぐ専用階段を設けることとしています。
5	19	大垣市の現庁舎は、各階にベランダがあり、足場を組まなくても窓清掃ができるように、新庁舎でも同様にメンテナンスに対する配慮をして下さい。	各階全周に庇を設置するなど、メンテナンスに配慮しながら、機能的で経済的な庁舎になるよう設計してまいります。
	20	太陽光パネルは、設置面積と発電量・維持コストを考査し、収益を見極めたうえで判断してほしい。	費用対効果を総合的に検討し、照明やコンセント等の庁内電源の一部となるよう、20kW程度の太陽光発電設備を設置してまいります。
	21	少し曇れば照明が点灯という窓構造は、暖冷房効果との兼ね合いもありますが、避けるべきと思います。	外壁と窓の構造については、採光、通風、断熱、意匠などの各機能や経済性を総合的に検討し、設計してまいります。
	22	庇・西日対策については、ハト・カラス等の糞害対策を講ずるべきである。近隣建物の被害の有無等へ調査検討は？	今後の実施設計にて、現庁舎や周辺施設の状況を考慮の上、生息する鳥類の特性に応じた対策を講じてまいります。
6	23	免震構造は必須と考えます。シンプルな構造設計で鉄骨造の諸条件を検討され強固な建物を。	免震構造を採用し、大地震後にも庁舎機能の継続的な利用を可能とする計画としており、鉄骨造の軽量で高精度な特徴を活かしながら、安全で経済的な構造設計を行ってまいります。

分類 No.	No.	意見内容	考え方
6	24	<p>駐車場用地を含めた敷地全体の液状化対策が必要と思います。</p>	<p>液状化については、地質調査結果を基に検討したところ、地表の液状化の可能性が低いため、建物の基礎構造についてのみ、必要な対策を講じてまいります。</p>
	25	<p>公設防災無線および行政無線設備を設置すること。</p> <p>その際、アマチュア無線設備も設置可能として頂くことと、有事災害の際には非常電源設備の電源を業務用と共有出来るように、またアマチュア無線用空中線の設置等にご配慮頂ければ幸いです。(この件に関しては、大垣市の社協を通じて、災害ボランティアとして地元「大垣アマチュア無線クラブ」の会員が非常災害通信を実施する予定でおります。また、非常災害時に於けるアマチュア無線通信連絡網が有効な情報伝達手段として東北大震災の際にも実証されております。)</p>	<p>運用中の防災行政無線は、新庁舎へ移設いたします。また、民間の無線利用従事者からの情報提供や非常時の通信網構築のため、協力体制を促進してまいります。</p>
	26	<p>防災ヘリの能力は大と考え、駐車場等にヘリポートの確保を図りたい。(通常は駐車場利用。)</p>	<p>新庁舎駐車場における防災ヘリコプターの臨時離着陸の使用については、市内における既存の臨時離着陸場の指定状況を踏まえた必要性や離着陸時の安全性の確保など検討し、関係機関と協議してまいります。</p>
	27	<p>非常時の電源のみならず、車両その他を水がつかぬ場所へ設置。</p>	<p>公用車の駐車場については、災害時の対応などを想定し、庁舎近隣に整備してまいります。</p>

分類 No.	No.	意見内容	考え方
6	28	<p>建物の 2F～3F 部分に相当する場所に非常用電源設備(ディーゼル発電機、ガソリン発電機、太陽光発電設備等)を屋外に設置すること。非常災害時の燃料の補給を考えて下さい。</p>	<p>非常用電源設備として、屋上に自家発電機を設置し、燃料については、屋外の地下にタンクを設置することで、非常災害時の燃料補給に対応してまいります。</p>
	29	<p>太陽光発電設備を 8F の屋上に設置すると有りますが、そんなに簡単ではありません。台風接近時には相当な風力が太陽光パネルに加わり、いとも簡単にパネルが吹き飛ばされてしまいます。少なくとも風速 80m の場合を考えて設置を考えて下さい。(この場合、太陽光パネルの耐風強度を計算すれば、特注パネルとなり、市販品の 100 倍位の価格になってしまう筈です。)</p>	<p>太陽光発電設備の詳細な構造につきましては、今後の実施設計において、安全性、経済性を十分に考慮して検討してまいります。</p>
7	30	<p>バスの経路は、駅前通りから郵便局の前経由で庁舎へ、と思われるが、郵便局側に駐車する車両が多く、いつも混雑しており危険。周辺全体の見地から、例えば北側へのコース設定の再検討は如何？</p>	<p>郵便局前の混雑を避けるバス路線の経路変更につきましては、今後関係機関と協議してまいります。</p>
	31	<p>工程から考えると、庁舎建設時は東京五輪・名古屋駅周辺、他の巨大大業が重なり、優秀な技術者の確保のために早め早めの準備と確保をお願いしたい。(資材の確保も含む。)</p>	<p>新庁舎の建物品質確保のためには、国の定める「公共工事の入札契約方法の適用に関するガイドライン」に準拠し、透明性、公平性、競争性の確保を前提に、時代のニーズや新庁舎事業の特性に応じた入札、契約となるよう十分に検討してまいります。</p>

分類 No.	No.	意見内容	考え方
7	32	市庁舎は市民のランドマークです。 費用の面はありますが、市民が自慢できるような、例えば岐阜のメディアコスモスのようにコンセプトを持った高名なデザイナーの方の建設を望みます。	設計者は、公募型プロポーザル方式により選定いたしました。
	33	西濃の中核市として圏域全体の経済成長の牽引、都市機能の集積強化、生活関連サービスの向上を視野に入れ、新庁舎を設計すること。	今後の市政運営の参考とさせていただきます。

※提出いただいたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約しました。